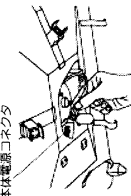


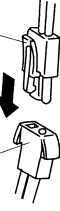
4. コネクタを接続する

本体電源コネクタ



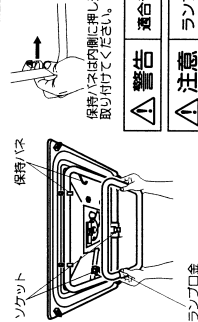
アダプタコードのコネクタを本体電源コネクタに差し込みます。

本体電源コネクタ アダプタコードのコネクタ



△ 注意 抜けないことを確認してください。

5. ランプを取り付ける



・本体に大きいランプから順に取り付けます。

- ① ソケット
- ② 保持パネ

の順で取り付けます。

△ 警告 適合ランプ以外は使用しないでください。感電または火災の原因となります。

△ 注意 ランプの口金は、無理に回さないでください。故障の原因となることがあります。

△ 注意 ランプをソケットに強硬に取り付けてください。取り付けが不十分だと、常夜灯点灯になりランプが点灯しなかったり、火災の原因となります。

6. セード取付方法（ターン方式）

おまけへ 正しくお使いいただくため、セード取付の前に必ずお読みください。

① 本体

ポイント

- ・セードの外側の中心を持って取り付けてください（\部分）
- ・\印が見える位置で取り付けを行なってください。

② 天井面にセードを押し上げる。

ポイント

- ・セードを約3度程度回すだけで取り付けます。

③ セードを回して取り付ける。

「カチッ」と音がするまでセードを少し（約3度）右に回します（時計回り）

ポイント

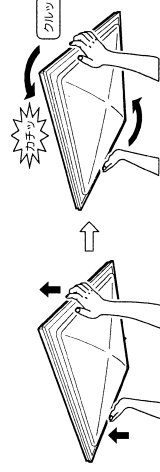
- ・セードは約3度程度回すだけで取り付けます。

△ 注意

セードの4隅を軽く引っばって、確実に取り付けられていることを確認してください。落下の原因となることがあります。

セードのはずしかた

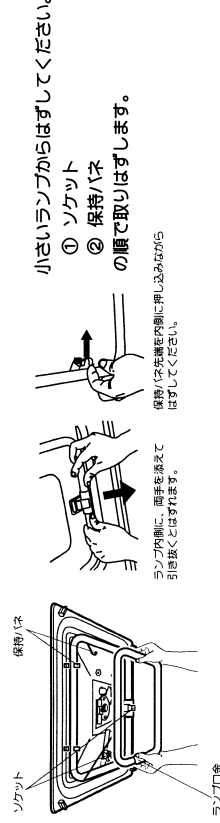
セードを押し上げながら、セードを少し（約3度）左に回してはずしてください。



ランプの交換

※必ず電源を切ってからランプの交換をしてください。

- ランプ口金付近のガラス管が少し黒くなったり、光が弱くなりましたら早めに交換してください。ランプの寿命がくると器具の保護回路がはたらき、すべての蛍光灯ランプが消灯し常夜灯が点灯します。ランプ交換の際は、適合ランプ（東芝蛍光灯・ネオスリムエスケア）をご指定ください。



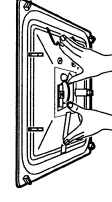
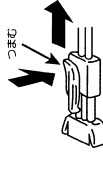
小さいランプからはずしてください。

- ① ソケット
 - ② 保持パネ
- の順で取りはずします。

ランプの側面、両手を添えて引抜くとはずれます。保持パネは左側を内側に押し込みながらはずしてください。

器具のはずしかた

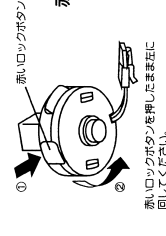
1. セードをはずす（上記 セードのはずしかた 参照）
2. ランプをはずす（上記 ランプの交換 参照）
3. 本体をはずす
 - ① アダプタコードのコネクタを電源コネクタからはずします。
※コネクタをつまみながら引き抜いてください。
 - ② 両手で本体を押しながら中央にある電源アダプタの丸い赤いボタンを押しってください。



△ 注意

本体は必ず両手でおさえながら、はずしてください。本体をおさえないで本体をはずすと、本体が落下してけがの原因となります。

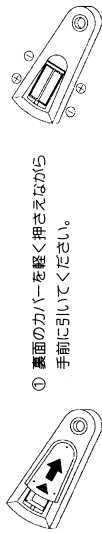
4. アダプタをはずす



赤いロックボタンを①矢印方向に押したまま、②左方向に回してください。

器具の使い方

リモコン送信器による点灯状態切り替え方法
リモコン送信器に乾電池を入れてください。



- ① 裏面のカバーを軽く押さえるから手前に向けてください。
 - ② 単4乾電池を表示に合わせて極性＋－をまちがえないようにいれてカバーを閉めてください。
- ・リモコン送信器の平均電池寿命は1日10回使用の場合約半年間が目安です。
- 乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。
 - 長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、乾電池を外しておいてください。液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。

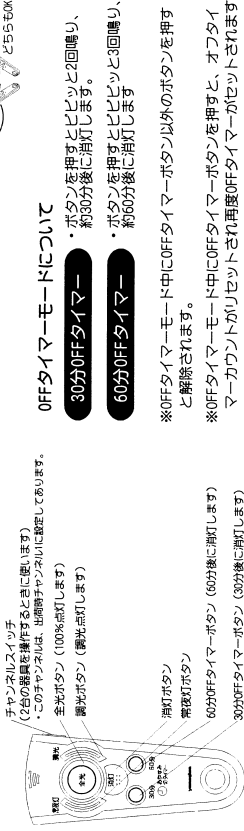
リモコンホルダーのご使用方法

リモコン送信器の紛失を防止するためのリモコンホルダーが同梱されています。
壁面に取り付けてご利用ください。

- 付属の木ねじでリモコンホルダーを壁面に固定してください。
- リモコンを操作する際は、ホルダーから送信器を外して器具に向けてください。

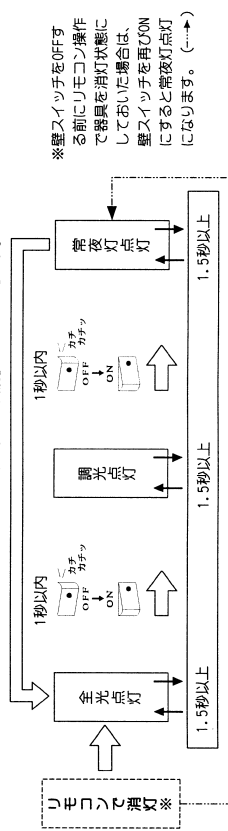
リモコン送信器による照明器具の点灯状態切り替え方法

- ・リモコン送信器を照明器具に向けて、ボタンを軽く押してください。
- ・照明器具内のブザーが“ピッ”となって下記の点灯状態に切り替えられます。
- ・2台の照明器具の操作が1つのリモコン送信器より行えます。
- ・それぞれの照明器具側のチャンネルを、チャンネル1・チャンネル2と個別に設定した場合、リモコン送信器と同じチャンネルの照明器具のみが動作します。



壁スイッチ操作による点灯状態切り替え方法

- ・プルスイッチレス 機能・・・この機能は、壁スイッチの操作によって、点灯状態を切り替えることができます。器具本体内部のマイコンが、1秒以内の電流変動を感知すると、次の点灯状態へ切り替わる「スイッチング機能」をはたかせます。

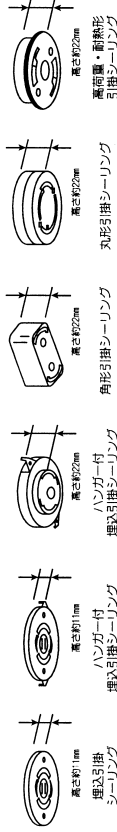


(ご注意) 1個の壁スイッチで2台以上の「プルスイッチレス」機能を操作することは避けてください。同時に切り替わらない場合があります。

器具の取付方法

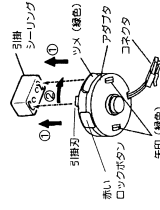
1. 天井の配線器具を確認する

器具を取り付ける天井に図のような引掛シーリングが取り付けられているか確認してください。
・取付可能な配線器具 (JIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングに適合します。)



2. アダプターを取り付ける

- ※取り付けの際は必ず電源を切ってください。
- ① 引掛シーリングへ2本の引掛刃を挿入します。
- ② “カチッ”と音がするまで右に回します。

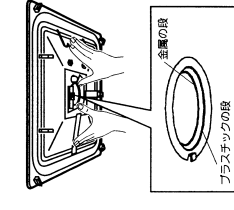


注意

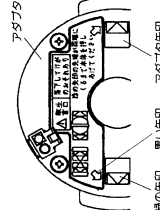
赤いロックボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認してください。

3. 本体を取り付ける

※本体裏面のヒス先端部に触れないように注意してください。強く触れるとけがの原因となります。



- ① 本体の中央裏りを手で支え、アダプタとの位置をあわせて“カチッ”と音がするまで本体をまっすぐに押し上げます。
※コードをはさみ込まないように注意してください。
- 埋込引掛シーリングの場合 (高さ約1mm)
1段階押し上げてアダプタのツメを金属の段に取り付けてください。
- 角形・丸形引掛シーリングの場合 (高さ約22mm)
2段階押し上げてアダプタのツメをプラスチックの段に取り付けてください。



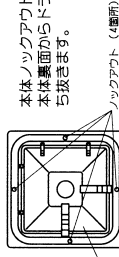
- ② 本体固定時、アダプタ矢印の先端が両端にくるまで押し上げてください。

警告 黒い矢印の先端に緑の矢印の先端がくるまで本体を押し上げてください。
本体の取り付けが不十分の場合、落下してけがの原因となります。

※器具本体裏のスポンジは、梱包材ではありません。はがさないでください。
(天井面に器具を取り付けるための緩衝材です。)

本体を木ねじで固定する場合

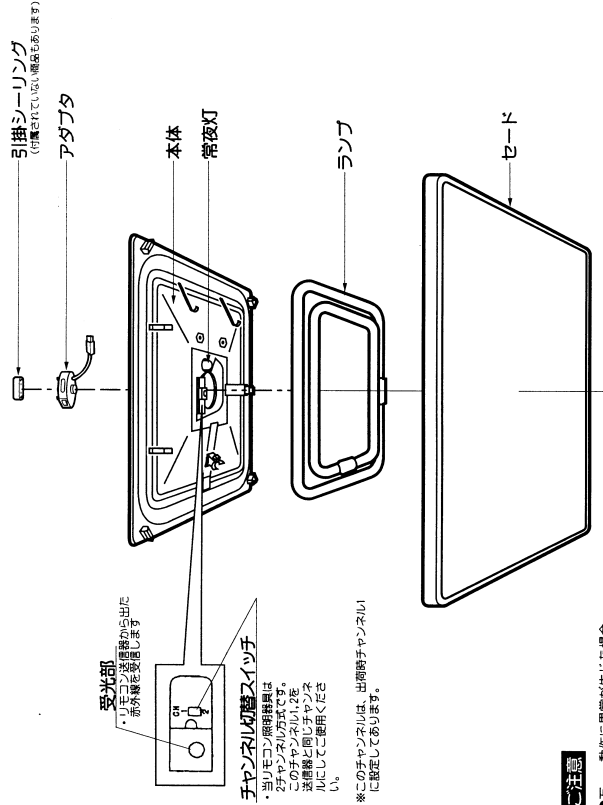
本体が安定しない場合や傾斜天井 (45度以下) に取り付けられる場合は、木ねじで固定してください。木ねじで固定する場合は本ねじ (4本) を使用します。
※引掛シーリングに本体が確実に取り付けられている場合は必要ありません。



本体ソックアウト (4箇所) を本体裏面からドライバーで打ち抜きます。

各部の名称

※この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と図が違っている場合があります。

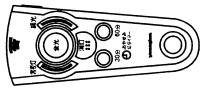


ご注意

- 万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、入れ直してください。
- （壁スイッチを一度切るか、壁スイッチが無い場合は、電源コネクターを一度外し取り付け直してください。）

付属部品

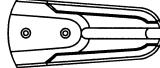
リモコン送信器
FRG-150



単4乾電池×2



リモコンホルダー



ホルダー取付用
木ねじ×2本



定格表

カタログ番号 型番	器具	定格電源電圧	周波数	消費電力 (器具)	待機電力	適合ランプ	質量
L-906S/W 27LD-0381-B5/W	110W形	AC100V	50/60Hz共用	93W	約1W	ネオスリムススクエア蛍光灯ランプ 50W形：F6650EL×1灯 60W形：F6660EL×1灯 (標準ランプは、3波長形電球色同梱) 常夜灯100V5W×1灯	4.9kg

リモコン使用上のご注意

- 付属のリモコン送信器は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
- リモコンは壁スイッチがONのときのみ切り替えます。
- リモコン送信器で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約1Wの電力を消費します。
- 長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電に心がけてください。
- インバーター照明器具が取り付けられた部屋での使用はインバーター器具から1.5m以上離して取り付けてください。
- リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
- リモコン送信器の周囲に図のようなしゃべり物がある場合は、受信機が動作しない場合がありますので、その際はしゃべり物を避けて、再度ボタンを押してください。
- リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので、乾いた布でふいてください。また、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
- この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器等を使用すると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなる場合があります。
- 点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替えてください。
- リモコンで消灯した場合、停電が発生した際プルスイッチレス機能が働き全光点灯などになることがあります。

故障ではありません

- 一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらき、次のような現象となり正常点灯しません。電源を切ってすみやかにランプ交換してください。（ランプ交換した後、点灯切り替えを行って再点灯してください。）
- ・ランプが消灯し、常夜灯が点灯する。
- ※ランプ交換の際には、すべてのランプを同時に交換することをおすすめします。
- 冬場など、周囲温度が低いとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり、“ピシ・ピシ”、“ポツ・ポツ”という摩擦音を生じることがあります。
- ランプが点灯するとき、ランプ先端部が赤く光ることがあります。
- 雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
- 調光点灯の状態で壁スイッチをOFFにし、再度壁スイッチでONにすると、いったん全光点灯になった後、調光点灯となります。また消灯もしくは常夜灯点灯からリモコン送信器で調光点灯にする場合は、いったん全光点灯になった後、調光点灯になります。
- 器具交換の目安は、使用環境により異なりますが約8～10年です。
- 電源の停電などで明るさが切り替わったり、切り替えができなくなったりする場合があります。その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。長時間お使いにならない場合は、壁スイッチでの消灯をお願い致します。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。
- リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。

お手入れのしかた

- ・常に明るく安全に正しく使っていただくために、6ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。
- 器具の汚れ（ホコリや虫など）は・・・
 - ・和紙や布などの材質を使用した時は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼいたものでふきとってください。
 - ・セードや本体は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼいたものでふきとってください。
- 注意 ガンリンやシンナー、ベンジンなどの薬品で器具をふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、変質、破壊の原因となります。

△注意

ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切ってください。感電の原因となります。



愛情点検

お読みになります。この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。

アフターサービスのお問い合わせ

商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「各部の名称」のイラストをご参照ください。



ヤマギワ リビエラテ ラ・ドリアテ 山	〒101-0021 東京都千代田区外神田1丁目5番10号 TEL(03)3253-5111(代案)	ヤマギワ 大阪明門 近畿営業所	〒541-0057 大阪府中央区北久宝寺町 3丁目6番1号 TEL(06)6258-6561(代案)
東京営業所	〒107-0062 東京都港区南青山3丁目16番3号 TEL(03)5561-9191(代案)	金沢営業所	〒920-0858 石川県金沢市西町2丁目1番5番6号 TEL(076)558-6721(代案)
外都営業本部	〒101-0062 東京都千代田区神田神保町3丁目4番地 TEL(03)3253-5143(代案)	高松営業所	〒760-0062 香川県高松市西上町3丁目8番11号 TEL(0878)39-3195(代案)
札幌営業所	〒060-0002 北海道札幌市中央区北二条西1丁目10番地 TEL(011)221-1321(代案)	広島営業所	〒730-0032 広島県広島市東区立町2番25号 TEL(082)249-5255(代案)
仙台営業所	〒980-0858 宮城県仙台市青葉区本町1丁目13番22号 TEL(022)271-0251(代案)	福岡営業所	〒810-0073 福岡県福岡市中央区博多2丁目1番10号 TEL(092)481-0001(代案)
横浜営業所	〒221-0032 神奈川県横浜市中区不老町1丁目1番14号 TEL(045)664-2871(代案)	宇都宮出張所	〒370-0071 群馬県高崎市八木町2008番5 TEL(0278)62-6920
ヤマギワ 名古屋営業所	〒460-0006 愛知県名古屋市中区東1丁目22番20号 TEL(052)931-2111(代案)	高松出張所	〒420-0072 静岡県静岡市葵区二番町7番6号 TEL(054) 273-5335
	TEL(025)751-3224(代案)	静岡出張所	

所在地・電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

取扱説明書

yamagiwa

L-906S/W 27LD-03B1-BS/W

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださいます。誠にありがとうございます。この説明書をよくごらんの上、正しく取り付け、正しくご使用ください。お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

●電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

目次

- 1ページ：照明器具の取付とご使用についての安全上のご注意
- 2ページ：各部の名称と付属部品・定格表
- 3～4ページ：器具の取付方法
- 5ページ：セード・ランプ交換方法・器具のはずしかた
- 6ページ：器具の使い方
- 7ページ：リモコン使用上のご注意
- 8ページ：お手入れのしかたとアフターサービスのお問い合わせ

高調波ガイドライン適合品

保存用

ご不明な点がございましたら
販売店にご相談ください。

照明器具の取付とご使用についての安全上のご注意

△警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●次のような場所には取り付けないでください。（この器具は天井取付専用です。）

○取付禁止 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



●次のような配線器具（引掛シーリング）には取り付けないでください。

○取付禁止 火災・感電・落下してけがの原因となります。（※電気工事店は法律で禁止されています。）

次のような場合は配線器具の交換を電気工事店に依頼してください。（※電気工事店は法律で禁止されています。）



※配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取り付けてください。

●器具を分解や改造したり、部品を変更しないでください。

●紙や布などを器具にかかざしたり、近くに置かないでください。

△注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

○屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。

○感電禁止 この器具は非防水です。火災・感電の原因となります。

●点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具にさわらないでください。

○点灯禁止 高温になっていきます。やけどの原因となります。

●温度の高い場所では使用しないでください。

○高温禁止 器具・ガラス・ガラスなどの要素や近くでは使用しないでください。火災の原因となります。この器具は60℃での温度範囲で使用するように設計されています。

●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。

●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

●点検せずには長期使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

●異常が生じた場合は、電源を切ってお買い上げの販売店・工事店にご相談ください。